

はちまんたい

No. **37**
2014年(平成26年)
11月6日

議会だより



夢に向かい 世界へ飛躍

小林陵侑(盛岡中央高校3年)

主な内容

- 9月定例会……………02
- 決算特別委員会……………04
- 一般質問……………06

12人が市政を問う

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

現庁舎の議場最後の定例会
25年度決算を認定



平成25年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定については、賛成多数で認定
(9月30日・第3回定例会最終日)

平成26年八幡平市議会第3回定例会（9月定例会）を9月12日から30日までの19日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、12人が一般質問をしたほか、平成25年度八幡平市一般会計をはじめとする9会計の決算などの全39議案を審議しました（うち1件は撤回）。ここでは、現庁舎の議場での最後の定例会となった9月定例会の主な内容を紹介します（金額はそれぞれ1万円未満を切り捨て）。

原案可決

●八幡平市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
家庭的保育事業などの認可を市で行うに当たり、設備と運営の基準を定めようとするものです。

●八幡平市教育・保育給付の支給認定に関する条例
子どもの教育・保育給付の支給要件と保育の必要性の認定基準を定めようとするものです。

●八幡平市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
保育所や幼稚園などの施設と家庭的保育事業などの特定地域型保育事業の運営の基準を定めようとするものです。

●八幡平市税条例の一部を改正する条例
10月1日から法人市民税割の税率を12・3%（標準税率）から12・1%（制限税率）に、軽自動車税は、来年4月1日から四輪以上の自家用の軽自動車は年額7200円から10800円（新車）などに改正しようとするものです。

●八幡平市学童保育クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例
学童保育クラブの設備と運

●八幡平市学童保育クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例
学童保育クラブの設備と運

●約30年間改正されておらず、普通車との格差を埋めざるを得なかったためである。

●平成26年度八幡平市一般会計補正予算（第5号）

●歳入、歳出それぞれ3億8620万円を増額するもので、主な歳出は次のとおりです。

●災害対応型バルク等LPガス機器購入費（2件） 1077万円

●丑山牧野森林化業務委託料 720万円

●安比塗漆器工房ブランドデザイン業務委託料など 501万円

●地域おこし協力隊はどのような活動をしているか。

●安比塗ブランド力向上事業にも関わっている。

●丑山牧野の森林化にはまだ予算が必要か。

●返地までの間、雑草を刈るなどの管理費が必要である。

●第3回定例会では、3特別会計と1事業会計の補正予算も原案のとおり可決しました。

●財産の取得に関し議決を求めることについて
新庁舎備品一式（1億648万円、盛岡市・（株）橋市物産）を取得しようとするものです。

請願・陳情

●産業建設常任委員会が審査
◎政府による緊急の過剰米処理を求める請願（請願者Ⅱ農民運動岩手県連合会会長・久保田彰孝） 備蓄米買い入れをはじめ、政府の責任で緊急に過剰米処理を行うことを求める内容
▼結果 採択すべきもの
▼本会議審議結果 採択

●総務常任委員会が審査
◎消費税10%増税の中止を求める請願書（請願者Ⅱ消費税廃止岩手県各界連絡会代表・藤沢光一） 消費税10%引き上げの中止を求める内容
▼結果 不採択とすべきもの
▼本会議審議結果 不採択

【賛成討論】 米田定男議員
消費税引き上げ法案の附則には、経済状況など勘案して増税するかどうかを決めるとある。個人消費の落ち込みや実質賃金の減少、年金の引き下げなどの状況で、さらなる増税には住民の暮らしが耐えられない。

●教育民生常任委員会が審査
◎被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める陳情（陳情

議員提案

●政府による緊急の過剰米処理を求める意見書（提出者Ⅱ産業建設常任委員長）

●本会議審議結果 原案可決
※このほかに、教育民生常任委員長から提出された意見書6件も原案のとおり可決し、意見書は国など提出しました。

●八幡平市議会改革特別委員会設置について（提出者Ⅱ議会運営委員長） 議会基本条例策定と議会改革の検討を行うために、議会改革特別委員会（定数7人）を設置しようとするもの
▼本会議審議結果 原案可決

平成26年八幡平市議会第3回定例会 賛否の分かれた議案などの採決結果一覧		議員名																				
議案名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
議案第12号		工藤 隆一	田村 善男	畠山 康	井上 辰男	立花 安文	大森 力男	渡辺 義光	工藤 剛	遠藤 公雄	古川 津好	小野寺昭一	田村 孝	山本 榮	高橋 守	高橋 悦郎	関 善次郎	大和田順一	高橋 光幸	米田 定男	北口 和男	伊藤 一彦
議案第12号	八幡平市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○
議案第20号	平成25年度八幡平市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	平成25年度八幡平市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	消費税10%増税の中止を求める請願書	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	○	●	●	●	○	●	○

※○=賛成、●=反対。工藤直道議長は採決には加わりません。

討 論

■一般会計

反対 米田定男議員

新庁舎建設には反対であり、決算で本体工事費だけで約11億円が計上された。また、土地開発基金5億円は長期間運用がない。そして、都市計画道路大更駅前線調査設計業務が約8,400万円と巨額でありながら、随意契約で業者が決まったことから反対する。

賛成 小野寺昭一議員

市税は2年連続増で、実質収支は約4億円の黒字となった。また、ソフト・ハード両面での施策の展開などは評価される。今後も市域の均等ある発展、市民の一体感の醸成への取り組みなど、市民の負託に応える市政運営を期待し、賛成する。

■国民健康保険特別会計(事業勘定)

反対 高橋悦郎議員

県内14市で一世帯当たりの国保税額は3番目に高いにもかかわらず、25年度は基金に約1億3,000万円積み立て、一般会計に約8,000万円を戻しても約1億7,000万円の黒字だった。黒字分はできる限り加入者に還元すべき必要があることから反対する。

各種指標が示す財政健全度

第3回定例会では、25年度決算に基づく市の健全化判断比率と資金不足比率が報告され、いずれも基準を下回りました。

- ①実質赤字比率** 標準財政規模(123億847万円)に対する一般会計などの赤字の割合で、実質黒字なので、該当しません。
- ②連結実質赤字比率** 標準財政規模に対する企業会計など全会計の赤字や資金不足額の割合で、実質赤字や資金不足の会計はないので、該当しません。
- ③実質公債費比率** 標準財政規模に対する地方債の償還金の割合で、11.5%(前年度比0.7㊦減)です。
- ④将来負担比率** 標準財政規模に対する一般会計など将来負担すべき実質的な負債の割合で、8.1%(前年度比1.7㊦増)です。
- ⑤資金不足比率** 水道など公営事業の資金不足額の割合で、黒字決算であるため、該当しません。

■一般会計歳出
問 農作物災害復旧対策事業費補助金の農作物の種類は。
答 ほうれんそうやりんどうのほか、ネギやキャベツ、アスパラガスなどで、全部で2450アールを復旧した。

問 畜産業費が当初予算より約7400万円減額となった要因は何か。
答 いわて型牧草地再生対策事業の利用者が見込みより少なかったことと、検査した結果、利用自粛となる牧草地の焼却処理の対象とならなかったためである。

■西根病院事業会計
問 水質検査の状況は。
答 原水は全39項目を年1回、指標菌検査を毎月行っている。

■一般会計歳入
問 震災等緊急雇用対応事業費補助金約1億1300万円は、どのような事業の補助か。
答 P Rラジオ番組制作や観光誘客など5事業で、地元雇用は16人だった。

問 有害鳥獣捕獲業務委託の方法は。
答 捕獲とパトロールを含めて一括で委託している。

■西根病院事業会計
問 企業立地促進業務補助金の内容は。
答 ニュートン(株)が製造ラインを増やしたものに對して補助した。

産業建設分科会

決 算 特別委員会



決算特別委員会(9月18日)

一般会計歳出総額は 202億3,374万円

決算特別委員会(高橋守委員長)を9月18、19、22、24、25、26日に市議会議事堂で開催しました。同委員会は、議長と議会選出監査委員を除く議員20人で構成し、今回は総務、教育民生、産業建設の分科会を設置。分担して平成25年度一般会計決算、6特別会計、2企業会計を審査し、全て原案のとおり認定することに決定しました。(9月30日の本会議で一般会計と国民健康保険特別会計(事業勘定)は賛成多数、その他は全会一致で原案認定)。ここでは、決算特別委員会の主な質疑などを紹介します。

総 括

総務分科会

教育民生分科会

■一般会計
問 住宅リフォーム事業の経済効果を止めないで続けるべきではないか。
答 下水道接続工事の部分は続けていくとともに、定住化促進には新築の工事費用の支援で取り組む。

問 来年度、農業振興地域整備計画策定にどのように取り組むか。
答 総合計画後期基本計画では第1次産業の生産力向上を重点施策に掲げており、所得向上に向けて実態に合った計画づくりをする。

問 24年度の県学習定着度状況調査は、県平均より下回っていたが、昨年度1教科で県平均を上回った要因は。
答 昨年度から小学校と中学校の連携について大きく取り組んできた。

■西根病院事業会計
問 医師充足率に不足はない中、医業収益の減収が続いている。この結果をどのような組織で検討、判断しているか。
答 院長や看護師長、事務局長で月1回の代表者会議で検討し、院内に周知しながら進めている。

■一般会計歳入
問 土地開発基金5億円が長期運用されていない。基金規模を縮小すべきでないか。
答 企業誘致の用地確保のためであるが進んでいない。次期市総合計画策定時に見直しが必要であると考えている。

■一般会計歳出
問 選挙運営公営費負担金の利用状況は。
答 昨年度は市長選挙分であり、4月の市議会議員選挙では、立候補者24人中23人が利用した。

問 協働によるまちづくり事業のうち、NPO法人が実施した事業内容は。
答 七時雨いきいきネットワークが学童保育クラブで花壇整備を実施した。

問 コミュニティバスの運行をどのように評価しているか。
答 西根・松尾地区は結構利用者がある。新庁舎開庁後は路線変更し、利用改善に努めるとともに、市道でのフリー乗降の周知をしていきたい。

問 盛岡地区広域消防組合負担金の算定基準は。
答 人口や消防署の人員体制などを基準としている。

■一般会計歳入
問 ひとり親家庭へ医療費助成のほかに、どのような助成をしているか。
答 市では保育料を軽減している。

■一般会計歳出
問 防犯灯整備工事で予算額に対し、不用額が多い理由は。
答 毎年10基ほど見込んで予算化しているが、昨年度整備したのは5基で、要望を受けてから工事をするため、補正は行わなかったものである。

問 緊急通報体制等整備事業の実際の利用状況は。
答 救急車を呼んでほしいという通報14件のうち、実際に出動したのは7件だった。

問 市内の自殺者の状況は。
答 昨年度が8人、24年度は13人、23年度は8人である。

問 予防費の不用額が約890万もある要因は何か。
答 成人の風しんの予防接種を1500人分予算化したのが、受けたのは49人だった。

問 昨年度の学校適正配置検討委員会の検討状況は。
答 具体的な審議は本年度からで、対象となる学校という議論には至っていない。

■平成25年度各会計の決算額(金額は1万円未満四捨五入)

会 計 名		収 入 額	支 出 額
一般会計		210億7,351万円	202億3,374万円
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	39億2,650万円	37億5,171万円
	後期高齢者医療	2億3,726万円	2億3,523万円
	国民健康保険(診療施設勘定)	3億 327万円	2億8,562万円
	公共下水道事業	6億1,647万円	5億9,714万円
	農業集落排水事業	6億8,006万円	6億5,766万円
企業会計	浄化槽事業	7,492万円	6,599万円
	西根病院事業	収益的収 支	6億7,956万円
		資本的収 支	1,728万円
	水道事業	収益的収 支	5億 395万円
		資本的収 支	2億2,722万円



おお もり りき
大森力男 議員
(新政クラブ)

人口減少時代を控えて

コンパクトシティー推進



整備が計画されている大更駅前周辺はコンパクトシティーの取り組みの一環

大森議員 近い将来、確実に押し寄せる超高齢化、人口減少時代を控えて、コンパクトシティーを含めた八幡平市のまちづくりの考え方は。

市長 コンパクトシティーは有効な手段であり、「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」推進も取り組みの一環と捉えている。

大森議員 まちづくりの鍵を握るのはやはり人材である。企業誘致が進まないのも人材不足が要因であり、人材育成が必要と考える。

市長 高校生や大学生の地元定着が重要であると考えている。岩手大学では、直近4年間で平均34%の県内就職率を29年度に39%に目標に掲げており、

地元定着率向上の取り組みに期待している。

地域の経営戦略は 広域活性化が有効

大森議員 地域間競争の激化が予想される中、市内各地域が進むべき明確なビジョンや地域振興プロジェクトなど地域の経営戦略が必要である。

市長 盛岡広域圏での経済活性化の取り組みは、非常に有効と考える。次期総合計画での市独自の取り組みと併せて、推進に努めなければならない。

安代地区で有志が 地域振興策を提言

大森議員 人口減少が著しいことを危惧した安代地区で、

地元有志が地域振興事業計画を立案した。市民からの地域振興に対する思いであり、どのように考えるか。

市長 住民自らが話し合い、主体となって地域の将来像の実現に向かうことが、コミュニティセンター化の目的であり、その過程で地域力向上につながるのではないかと。



わた なべ よし みつ
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

市の住みやすさの向上へ

次期総合計画の中で検討



観光客の要望に応えるガイドの育成を

渡辺議員 東洋経済新報社が発表した「住みよさランキング」で、八幡平市は791都市中、総合669位だった。上位を目指すには、文化や芸術など、心の豊かさやおもてなしの心を生かしたまちづくりと実践活動が必要である。

市長 まちづくりを進める上で、文化や芸術、おもてなしなど、心の豊かさを生かした活動は重要になると認識しており、支援していきたい。

渡辺議員 公表された結果を踏まえ、各種計画にどのような取り組みを入れていくか。

企画総務部長 次期総合計画策定の中で検討したい。

渡辺議員 芸術や心の豊かさを進めるための拠点となる文化会館建設への取り組みの動きが見えてこない。

市長 ただ建てただけでは無駄な箱物になってしまう。運営や経営の手法を検討していきたい。

観光ガイドの養成

渡辺議員 八幡平の観光ガイド養成についての考えは。

市長 観光ガイド育成は、観光推進の課題であると捉えている。市観光協会をはじめ、関係団体と協議を進めガイド養成事業を検討する。

現庁舎の有効活用

渡辺議員 新庁舎移転後の現庁舎の窓口サービスの充実はどういうように対応するか。

市長 西根総合支所として窓口業務は他の総合支所と同様の取り扱いとし、開庁後から来年度末までの動向を検証した上で、必要な対応を考える。

渡辺議員 今後の現庁舎の効果的な活用方法は。

市長 現在、JA新いわての中央支所の誘致に向けて働き掛けをしている。



ふる かわ つ よし
古川津好 議員
(緑松会)

災害危険区域を通知

説明会を開催し周知する



密集した看板の整理が必要

古川議員 広島市での土砂災害では、危険区域であることを市民に直接知らせなかったことが、多くの人命を失うことになった一つの要因であるといわれている。市内の危険な場所に住む人に、直接通知することが必要ではないか。

市長 市内では急傾斜地崩壊危険箇所などが169箇所ある。県から土砂災害危険区域の指定されたときには、住民説明会を開催するなどして周知を図りたい。

温泉会社を独立し分社

古川議員 6月定例会で市長は「温泉を供給する八幡平市産業振興(株)の給湯事業部門は、市が責任を持って整備や運営

に携わるべき」と答弁したが、分社する方向と受け止めてよいのか。

市長 本年度中に策定する分散型エネルギープロジェクトマスタープランで検討する。

焼走り駐車場周辺整備

古川議員 岩手山焼走り登山口の駐車場周辺の看板が乱立

して分かりづらい。また、駐車場のトイレは、天然記念物の焼走り熔岩流に観光客を迎えるトイレとして清掃が不十分と思う。どのように対応していくか。

市長 看板が密集しているのに関係機関と協議して計画的に改修を進めたい。トイレは八幡平市産業振興(株)が管理し

ているが、特に夏場に虫やクモの巣が張りやすいので、早急に改善するよう申し入れる。

古川議員 夏場の登山客のために、焼走りと馬返しの登山口を結ぶシャトルバスについて滝沢市と協議できないか。

市長 奥産道の松川と網張の連携もあることから、同様に担当者で協議したい。



たちばな やすふみ
立花安文 議員
(八起会)

あしろ保育所畑分園

3歳未満児も受け入れる



来年度から3歳未満児も受け入れ
あしろ保育所畑分園

立花議員 あしろ保育所畑分園の園児10人のうち、本年度6人が卒園する。来年度の入园児見込み数によっては廃園があるのか。

市長 廃園は考えていない。来年度からは3歳未満児を受け入れることにしている。

立花議員 小規模保育事業の運営基準は。

地域福祉課長 畑分園の場合、国の基準では保育士の資格がなくても運営できるが、市では全員有資格者を配置する予定である。

安代老人憩の家を あずみの湯に併設

立花議員 安代老人憩の家は本年度で閉館し、来年度から

は綿帽子温泉館あずみの湯に併設する計画だが、利用料金などはいつごろ公表するのか。

市長 利用料金は西根老人憩の家と同じにするが、昨今の燃料費の高騰などから料金の見直しを検討しており、条例改正は12月までに行う予定である。施設管理は、指定管理を考えている。

立花議員 屋内ゲートボール場は解体しないでこれまで通り利用させる考えか。

市長 利用させたいと考えているが、管理の在り方を検討している。

立花議員 健康教室は継続するのか。

市長 あずみの湯で継続して実施するが、会場が1つにな

ることで問題が生じた場合は、回数を増やすなどの対応をしていきたいと考えている。

●他の質問事項 防災行政無線施設の屋外子局の土地利用率および市が借りている全ての土地使用料の定期的な見直し状況、目名市牛舎と兄川牧場および田代平高原について



せき ぜんじろう
関善次郎 議員
(自由クラブ)

土砂災害ハザードマップ

作成に向けて検討する



台風18号と集中豪雨で兄川地区の
市道が決壊し、住民が孤立した

関議員 昨年の台風18号と集中豪雨で、兄川地区の市道が決壊し、住民が孤立した。復旧工事は行われたが、今後の災害防止策は。

市長 今後、県に対して治山ダム施工を要望していく。

関議員 土砂災害警戒箇所を示したハザードマップを作成し、市民に災害発生のおそれ

があるときの対応策と避難経路を周知させる考えは。

市長 住民の防災・危機意識の向上のため、危険箇所や区域、避難場所などの情報を市のホームページや広報に掲載するなど周知する。ハザードマップは現在作成されていないが、周知する上で重要であり、作成に向けて検討する。

住宅リフォームの 助成を延長すべき

関議員 住宅リフォーム支援事業は本年度が最終年度だが、雇用確保のためにも延長すべきではないか。

市長 住宅リフォーム支援事業は21年度から実施しているが、22年度をピークに減少傾向

向にあり、既に一定の成果を達成したものと分析している。

関議員 消費税が10%に上がることが予想され、本年度は今後、駆け込みで申請が増える可能性があることから、延長は検討できないか。

市長 下水道接続工事など、市の政策と合致する部分には一定の助成をしていきたい。

兄川リハビリ牧場 市民の雇用に活用

関議員 兄川リハビリ牧場は、市民の雇用拡大など収益を上げることに利用すべきである。
市長 全酪連で搾乳牧場を設置する計画があり、5月に市内の牧野などを視察した。事業実施を期待している。



たむらよしお
田村善男 議員
(八起会)

市内小中学校の危機管理

全校でマニュアル策定済

田村議員 最近、子どもたちを対象にした事件が頻繁に発生している。また、思わぬ災害も想定される。市内の小中学校では危機管理マニュアルを作成しているのか。

教育長 不審者が侵入した場合の対応や登校下校の危機管理、行方不明や誘拐への対応、火災、地震、暴風洪水、大雪

などへの対応、感染症への対応などが盛り込まれた危機管理マニュアルのほか、いじめ問題に対してもいじめ防止基本方針を市内の全ての小中学校で策定している。今後もマニュアルの内容を随時見直しながら適切に対応できる体制を整え、子どもたちの安全を確保していきたい。

農業の後継者不足 解消策をどうする

田村議員 基幹産業の農業で次世代を担う後継者不足の解消策をどのように進めるか。

市長 農業を魅力あるものにしていくとともに、農業を就業として選択できるようにさまざまな場面で発信すること

が必要である。新規就農者への各種研修等の情報提供、研修受け入れ農家の選定を促進していきたい。また、市内の小中学校で農業体験学習などを行い、農業への関心を持ち、将来の農業従事者の育成を図る必要もあると考えている。

新規就農者等支援事業は、対象作物にこれまでのハウレンソウとリンドウのほか、トマトやピーマン、キュウリを加えたほか、青年就農給付金については親元に就農する場合でも一定の要件を満たせば対象となることから周知を図りたい。



マニュアルに基づいた危機管理を
(平舘小学校・避難訓練)

●他の質問事項 雇用対策について



井上辰男 議員
(八起会)

防災意識の周知徹底

市内全域で懇談会を開催



土のうによる土石流せき止め訓練
(8月30日・県総合防災訓練)

井上議員 市民への防災意識、避難意識の周知徹底をどのように指導していくのか。

市長 市内全域で開催している懇談会での情報をもとに、消防団の分団単位で地域防災計画の策定をしていきたい。

井上議員 地形や状況が違う旧3町村で避難勧告などの指標をどのように作成するのか。

市長 気象情報や土砂災害警戒情報などをもとに、発令基準を作成することになっている。

井上議員 昨年の豪雨で平館地区も国道282号の2カ所で冠水した。感じたことは。

市長 排水路が漏水を誘い込む形状となっている。西根バイパス開通に伴い、現在の国道282号は市の管理道路に

なるが、県には修正の上で移管するよう申し入れをした。

井上議員 県総合防災訓練でこれから生かされる教訓と課題はあったのか。

市長 岩手山噴火に対する備えを改めて考えるきっかけとなった。今後は市独自の総合防災訓練を定期的に実施していきたいと考えている。

平館・樺沢が次期産廃処分場候補地

井上議員 県の次期産業廃棄物最終処分場の候補地の一つである平館の場所と区分は。

市長 平館第2地割内の樺沢に沿う一部農地を含む平坦地で、管理型埋め立て処分場となる計画である。

井上議員 浸出水による農業などへの影響はないのか。

市長 周辺環境への影響を最小限にとどめるよう施設整備が計画されている。

井上議員 最終処分場が終了した場合の跡地利用は。

市民課長 県からはパークゴルフ場や公園としての利用は可能と聞いている。



山本 栄 議員
(日本共産党)

特産品を伸ばし雇用拡大

集落営農組織を支援



市の特産品・リンドウから雇用拡大を
(田山地区のリンドウ畑)

山本議員 策定中の第2次定住促進計画の中心政策は。

市長 雇用対策を重点課題と捉えている。課題を整理して計画を策定するとともに、次期総合計画に反映していきたい。

市長 現在、集落営農組合でリンドウ、ホウレンソウに取り組んでいるのは1組織だけなので、強力で推進していく。

山本議員 田山中学校跡地に流雪溝付住宅を整備し、提供する必要があります。

山本議員 除雪が大変な高齢者のアパートの整備計画は。

山本議員 空き家条例や景観条例を制定し、適正な管理に当たるべきではないか。

空き家の適正管理条例を制定すべき

市長 現在、空き家の実態などをアンケート調査中である。条例の制定は、他市を参考に、成案に取り組みたい。



米田定男 議員
(日本共産党)

なぜコンパクト化なのか

集約型のまちづくりを



大更駅周辺は集約型のまちづくりで

米田議員 大更駅周辺まちづくり計画の基本的な目標にコンパクトなまちづくりを掲げている。どのような施策でも、その地域や住民のくらしの実態を踏まえることが基本であるが、大更駅周辺地域自体がコンパクトといえる規模なのに、巨額の投資を行ってコンパクト化を推進する必要性があるのか。市の財政から見れば、他の地域を置き去りにしかねないと言わざるを得ない。

市長 人口減少や高齢化、財政の効率化を考えた場合、地域の特性を踏まえ、選択に応じて一定程度の人口が集まって住み、都市機能が集約され、良好な住環境や交流空間を効率的に実現する集約型のまち

づくりをコンパクトなまちづくりと考えている。大更駅を中心としたコンパクトなまちづくりが他の地域の振興策に影響することはないことをご理解いただきたい。

米田議員 コンパクト化そのものを全く否定しないが、大更駅を中心にして半径400メートル程度の規模なのにコンパクト化といえる。

市長 どこに八幡平市としてどのような文化会館が必要かはこれから検討することになる。大更駅周辺に文化会館を建設すると決まったものではない。

副市長 西根病院は、さまざまな条件を比較し、今後、議会に基本計画を説明する中で、検討をお願いする。



きたぐち かずお 議員
北口和男 (無会派)

交流新拠点目指した整備

新庁舎周辺限らず全域で



新庁舎を交流新拠点の核に

北口議員 完成後の新庁舎周辺は、北東北3県の中心、盛岡以北の拠点を旨として、公共・民間施設などを設置できる土地を確保して整備するべきではないか。

市長 新庁舎の西側は、後藤川地区水田の圃場整備が計画されている。東側の国道282号沿道脇の農業振興地域区

域外が対象になるが、土地の確保の検討には至っていない。拠点を旨として整備は、新庁舎周辺に限らず、現在進めている大更駅周辺の整備も含めた市内全域で検討したいと考える。

北口議員 新庁舎での車庫整備に当たり、公用車の駐車配列の考え方は。

市長 車庫に配置するのは市長車や議長車など24台で、その他の車両は現在と同様、屋外に駐車することになる。

北口議員 4月に県で設立した「いわて花と緑の普及協議会」に、今後市はどのように携わっていくのか。

北口議員 現在、市場開拓や視察のため、生産者を中心に海外へ事業調査に出向いている。市職員も参加させるべきではないか。

市長 花卉振興法の施行されると、市にも努力義務が課せられる。職員が世界的視野で振興策を学ぶためにも、参加には前向きに検討したい。



くどう つよし 議員
工藤 剛 (新政クラブ)

農家の所得安定化対策

変化する国の施策の周知



米だけに頼らない農業を

工藤議員 担い手不足も含め、農業の発展には農家の安定した所得が必要だと考えるが、その対策は。

市長 目まぐるしく変化する国の農業施策を周知させることで、効果的に利用できるように推進する。

工藤議員 農業で安定した生活を送るためには、一つの産

業と捉えて指導するべきと考えるが。

市長 米だけに依存せず、米と別作物で経営を維持するなど、農家ではなく農業者を支援する制度に誘導していく。

工藤議員 平成26年度の米価の大暴落ということに対して、緊急事態と捉えて早急に対策が必要ではないか。

市長 農協など集荷団体の対応を見てから、行政の対応を検討する。

大更駅周辺開発で どう人を集めるか

工藤議員 大更駅周辺開発でにぎわいを創出するには、道路などの整備と絡めて、どのように人を集めるか。

市長 指摘のとおり整備したものを生かす事業も進めなければ人は集まらない。地元商店をはじめ、商工会などの意見を聞きながら進めなければならない。

工藤議員 大手スーパーの進出やインターネット販売の拡大で、物販だけでは人を集めることはできない。市民活動の場とするのが前提である。また、駅周辺の人たちだけでなく、観光客も立ち寄ってもらえる駅前したいと考えている。副市長 交通機関などからも意見をもらいながら連携を深めているところである。

●他の質問事項 市営住宅のあり方について



たかはし えつろう 議員
高橋悦郎 (日本共産党)

介護保険料の負担は限界

抜本的解決を国に求める



八幡平市の介護保険事業を広域で行っている盛岡北部行政事務組合

高橋議員 第6期介護保険事業計画が来年度からスタートするが、65歳以上の介護保険料はどのようになるか。

市長 盛岡北部行政事務組合管内では本年度に、グループホーム18床と小規模特別養護老人ホーム29床が整備予定で、給付費の増加により、保険料は上がる見込みである。

高橋議員 現在の介護保険制度では、高齢化が進みサービス利用が増えたと、保険料が果てしなく上がっていく仕組みである。制度そのものが本来の役割を果たしておらず、限界にきているのではないかと考える。

市長 介護施設を増やせば保険料が上がる仕組みで、これ以上の保険料引き上げは非常に

に厳しいと感じている。今後、抜本的な解決策を国に求めていきたい。

高橋議員 全国の中には一般会計から繰り入れをして保険料引き上げを抑えている自治体もある。国が保険料引き上げの緩和策を行わないのであれば、自治体自身で行うべきであり、実施の考えは。

副市長 介護保険事業は、岩手町・葛巻町との盛岡北部行政事務組合による広域で行っており、八幡平市だけの判断ではできない。介護保険制度の趣旨から自治体からの負担はなまじないと考えている。ただし、現状での保険料の引き上げは相当の課題だと認識している。

高橋議員 盛岡北部行政事務組合が介護保険事業を行うことで、市の実態がよく見えなと感じるが、広域で行うことのメリットは何か。

副市長 広域でなく単独で介護認定審査会を行うのは、医師の負担が増える。また、広域で行うことで、人件費の削減にもなっている。

議会の動き（7月15日から10月28日まで）		
7月		
▶15日	平成26年7月岩手県後期高齢者医療広域連合議会臨時会	任委員会 総務常任委員会、産業建設常任委員会
▶16日	議会運営委員会、市議会第2回臨時会	▶18日 議会運営委員会、決算特別委員会
▶17日	日本共産党会派研修（～19日）	▶19日 議会運営委員会、決算特別委員会、教育民生常任委員会
▶22日	無会派（工藤直道議長）研修、平成26年7月盛岡地区広域消防組合議会臨時会	▶22日 決算特別委員会
▶24日	岩手県選出国議員等に対する実行運動	▶24日 決算特別委員会、教育民生常任委員会
▶26日	六市議会議員協議会スポーツ交流大会	▶25日 決算特別委員会
8月		▶26日 議会広報常任委員会、議会運営委員会、決算特別委員会
▶4日	新政クラブ・無会派（北口和男議員）合同研修（～6日）、福島県相馬市議会文教厚生常任委員会視察来庁	▶30日 議員全員協議会
▶11日	議会運営委員会	10月
▶21日	埼玉県坂戸市議会会派視察来庁	▶2日 議会広報常任委員会所管事務調査（～3日）
▶22日	第52回知事を囲む懇談会	▶8日 長野県塩尻市議会会派視察来庁、議会広報常任委員会
▶27日	全国市議会議長会基地協議会平成27年度基地対策関係予算確保実行運動（～28日）	▶11日 八起会会派研修（～15日）
▶28日	無会派（工藤直道議長）研修	▶16日 議会改革特別委員会、議会運営委員会
▶29日	千葉県八千代市議会会派視察来庁	▶21日 佐賀県唐津市議会会派視察来庁、議会運営委員会
9月		▶23日 総務常任委員会所管事務調査（～24日）、全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会
▶1日	議員全員協議会	▶27日 議員全員協議会、議会改革特別委員会、大分県国東市総務常任委員会視察来庁
▶5日	議会運営委員会	▶28日 全国市議会議長会基地協議会東北部会第22回定期総会、議会広報常任委員会
▶12日	市議会第3回定例会（～30日）、議会広報常	▶29日 教育民生常任委員会所管事務調査（～30日）

12月定例会の日程（予定）	
期 日	内 容
12月9日(火)	議案上程 ほか
12月10日(水)	一般質問
12月11日(木)	一般質問
12月12日(金)	一般質問
12月13日(土)	休 会
12月14日(日)	休 会
12月15日(月)	休 会
12月16日(火)	議案審議
12月17日(水)	休 会
12月18日(木)	請願・発議案審議

※詳しい日程は決まり次第、市議会ホームページに掲載します。

傍聴を希望する人は、議会開会日に八幡平市議会議事堂（市役所3階）にお越しください。
 なお、12月定例会からは新庁舎の議場での開催となります。
 詳しくは、八幡平市議会事務局（☎76-2111、内線1321～1323）まで。

クイズ

問

○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう？

25年度の震災等緊急雇用対応事業での
地元雇用は○人

- 応募方法

はがき、FAX、Eメールに「答え、住所(行政区)、氏名（ふりがな）、年齢、議会だよりを読んだ感想、市政や市議会への意見・要望など」を必ず記入して応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします。
※お寄せいただいた個人情報は、景品の発送以外には使用しません。
- あて先

〒028-7192(住所不要) 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-76-2980 Eメール：gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 応募期限

平成26年12月8日(月)(当日消印有効)

前回(No.36)の正解 インフレ(スライド条項)
 応募者 19人 正解者 18人
 当選者 遠藤弘子さん(平舘)、浅沼学さん(松尾寄木)、玉田公三さん(松尾寄木)、高橋弘子さん(大更)、小野寺小枝子さん(荒木田)、澤口スエさん(平舘)、平野律子さん(大更)、遠藤幸子さん(叭田)、小野寺幸子さん(野駄)、山田恵子さん(大更)、

平成26年八幡平市議会第2回臨時会 賛否の分かれた議案などの採決結果		
議案名	議案第1号	議案第2号
議員名	八幡平市庁舎建設工事及び多目的ホール建設工事（建築・機械設備）の変更請負契約の締結に 関し議決を求 めることにつ いて	八幡平市庁舎建設工事及び多目的ホール建設工事（電気設備）の変更請負契約の締結に 関し議決を求 めることにつ いて
1	工藤 隆一	○
2	田村 善男	○
3	畠山 康	○
4	井上 辰男	○
5	立花 安文	○
6	大森 力男	○
7	渡辺 義光	○
8	工藤 剛	○
9	遠藤 公雄	○
10	古川 津好	○
11	小野寺昭一	○
12	田村 孝	○
13	山本 榮	●
14	高橋 守	—
15	高橋 悦郎	●
16	関 善次郎	○
17	大和田順一	○
18	高橋 光幸	○
19	米田 定男	●
20	北口 和男	○
21	伊藤 一彦	○

※「○」＝賛成、「●」＝反対、「—」＝除斥

■「議員と語る会」日程と班構成		
日 時	会 場	担当班
11月21日(金) 午後6時半～8時	南寄木集落センター	1班
	荒屋コミュニティセンタ	2班
	寺田コミュニティセンター	3班
11月22日(土) 午後6時半～8時	大更コミュニティセンター	1班

1 班	2 班	3 班
渡辺 義光	工藤 剛	大森 力男
米田 定男	高橋 光幸	高橋 守
大和田順一	北口 和男	山本 榮
田村 孝	小野寺昭一	伊藤 一彦
立花 安文	遠藤 公雄	井上 辰男
古川 津好	田村 善男	工藤 隆一
畠山 康	高橋 悦郎	関 善次郎

原案可決
 ●八幡平市庁舎建設工事および多目的ホール建設工事（建築・機械設備）の変更請負契約の締結に
 関し議決を求めることについて
 インフレスライド条項に基づく変更で、8885万円増額し、21億4685万円で契約を締結しようとするものです（清水建設(株)・(株)高建工業）

特定建設工事共同企業体）。
 ●八幡平市庁舎建設工事および多目的ホール建設工事（電気設備）の変更請負契約の締結に
 関し議決を求めることについて
 LED照明にする変更で、574万円増額し、3億3859万円
 で契約を締結しようとするものです（盛岡市・(株)ユアテック岩手支社）。

●平成26年度八幡平市一般会計補正予算(第4号)
 歳入、歳出それぞれ7793万円増額するもので、主な歳出は次のとおりです。
 ▼分散型エネルギー事業マスタープラン策定支援業務委託 5497万円
 ▼ため池点検業務委託 220万円
 ▼道路等維持補修事業修繕料 1500万円

昨年初めて開催した議会報告会「議員と語る会」を今年も開催します。議会を身近に感じることができ
 る機会
 で、誰でも参加できます。ぜひ、会場にお越しください。
 ■日時
 11月21日(金)・22日(土)、午後6時半から8時まで（詳しい日程は左表のとおり）



昨年の議員と語る会

- 内容**
 ①議会報告（第3回定例会など）
 ②市政や市議会に関する意見交換

第2回臨時会

変更契約締結と
補正予算を可決

●会期（1日）
7月16日
●報告 1件
●議案 3件
（市長提出）

「議員と語る会」へお越しください

市民の声を市政に

議会のまど



さわ ぐち すすむ
澤口 進さん(下平笠)

個々の議員が地域で
市民に見える活動を

8月30日に行われた県総合防災訓練にボランティアで参加しましたが、机上の訓練という感じが拭えませんでした。実際に岩手山に噴火の兆候があった場合、どのように情報を集約し市民へ周知するかや、避難経路の確保と手段などの訓練を行い、防災に取り組んでももらいたいです。また、新庁舎と松尾八幡平インターチェンジ間で開発などの整備が進むことを期待します。

議員の皆さんには、市民の目に見える活動が必要だと思います。その活動で感じた市民からの意見を議題に、議会で意見を交わして、議員同士の考え方を理解した上で、市政に反映させてほしいです。

市

には意外と宅地が少ない上、人口が増えているところはアパートなどが多い地区ばかりで、その他の地区は増えていません。市の土地を売り、住む人を増やしてほしいです。(平館・50歳女性)

議

会だよりには観光の話題が少ないように感じます。地域のことも大事ですが、八幡平市を全国にアピールして、人を呼び込む政策を議論してもらいたいです。田舎暮らしの募集などを企画してはどうでしょうか。(松尾寄木・65歳男性)

平

成52年には、市の人口が半減する推計ということで、人口が増えるように考えてほしいです。(平館・72歳男性)

年

に何度か古着の回収などをイベントのときにやっていますが、市内の何力所かに古着回収ポストなどを常設できないでしょうか。(大更・62歳女性)

議

会だよりの写真を全てカラーにしてみてもうでしょうか。(大更・19歳男性)

最

近、地方議会議員の残念なニュースをよく耳にします。市民に対してもっと「見える議会」を進めて、的確な情報提供をお願いします。(松尾寄木・39歳男性)



クイズに寄せられた意見などの中からいくつかを紹介します。

議

会だよりを読んで「インフレスライド条項」という言葉を初めて知ることができました。(吠田・69歳女性)

男

性)

平成26年第3回定例会傍聴者数

38人

市議会ホームページにアクセスを

市議会のホームページには、はちまんだい議会だよりのほか、議会日程(会期日程、一般質問の通告一覧)や議決結果、会議録(キーワード検索できます)などを掲載しています。ご覧ください。

今回の表紙



盛岡中央高校3年
小林陵侑 選手

こばやし・りょうゆう
18歳 松尾中卒

昨

シーズンは、冬季国体スキー複合少年男子で優勝するなど活躍を見せた小林選手。10月24日から26日まで行われた鹿角サマージャンプ・コンバインド大会の少年ジャンプで優勝し、高校生最後となる冬のシーズンに向けて弾みをつけた。「もっと力をつけて、今季は世界ジュニア選手権で入賞したい」と意欲を燃やす小林選手の視線の先は、世界の舞台に向いている。